

平成16年度 環境省環境放射線等  
モニタリング調査業務報告書

〔 空間  $\gamma$  線線量率及び大気浮遊じんの  
全  $\alpha$ ・全  $\beta$  放射能濃度に係る調査結果 〕

平成17年3月

財団法人 日本分析センター

## 目 次

はじめに

1. 調査の目的及び内容	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査内容	1
1.3 監視システム	1
1.3.1 監視システムの概要	1
1.3.2 測定項目	1
2. 自動測定データの評価・解析方法	3
2.1 自動測定データの解析方法	3
2.1.1 空間 $\gamma$ 線線量率	3
2.1.2 大気浮遊じんの全 $\alpha$ ・全 $\beta$ 放射能濃度	3
2.2 自動測定データの解析結果	4
2.2.1 空間 $\gamma$ 線線量率の解析結果	4
2.2.2 大気浮遊じんの全 $\alpha$ ・全 $\beta$ 放射能濃度の解析結果	6
2.3 監視システムの改善	10
2.4 今後の課題	10
3. まとめ	
3.1 空間 $\gamma$ 線線量率	12
3.2 大気浮遊じんの全 $\alpha$ ・全 $\beta$ 放射能濃度	12
付録目次	13
付録1 環境放射性物質監視システムの自動測定データについて	17
付録2 自動測定装置に係る諸データ	21
付録3 図表集	25
付録4 空間 $\gamma$ 線線量率及び大気浮遊じんの全 $\alpha$ ・全 $\beta$ 放射能濃度の変動要因について	73
付録5 対応基準値	77
付録6 放射線測定装置	79
付録7 筑波測定所における空間 $\gamma$ 線線量率の上昇に伴う $\gamma$ 線通過率の低下について	83

## 環境放射線等モニタリングデータ評価検討会

### ○環境放射線等モニタリングデータ評価検討会委員

委員長	小佐古 敏荘	東京大学原子力研究総合センター助教授
委員	五十嵐 康人	気象庁気象研究所地球化学研究部第2研究室主任研究官
	鈴木 隆	日本原子力研究所大洗研究所 保安管理室放射線管理課長代理
	武石 稔	核燃料サイクル開発機構東海事業所 放射線安全部環境監視課長
	藤高 和信	独立行政法人放射線医学総合研究所放射線安全研究 センター宇宙放射線防護プロジェクトリーダー
	向井 人史	独立行政法人国立環境研究所 地球環境研究センター研究管理官

本検討会の内容については、「平成16年度環境省環境放射線等モニタリング調査業務報告書（別冊）」に記載している。